

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成14年10月28日



うつくしま、ふくしま。

福島県

目次

1 最近の県経済動向	1
2 福島県の主要経済指標	3
個人消費	
大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
建設需要	
新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
生産活動	
鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
大口電力使用量 大口電力契約量	5
雇用・労働	
新規求人倍率 有効求人倍率	5
有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
物価	
卸売物価指数 消費者物価指数	7
企業・金融	
企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
中小企業業況判断DI	9
市場	
株式 円相場	9
3 景気動向指数(福島県)	10
4 中小企業経営動向調査((財)福島県産業振興センター)	11
5 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	12
(参考)	
1 福島県金融経済概況	14
2 月例経済報告	14

お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部電子社会推進・統計室
統計分析グループ
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7143
FAX 024(521)7914

1 最近の県経済動向

県内の景気は、生産活動の緩やかな回復が続いており、雇用情勢・個人消費にも変化がみられるものの依然低調に推移しており、引き続き厳しい状況にある。

(1) 個人消費

大型小売店販売額(8月)は総額約202億円となり、前年同月比(店舗調整後)で0.8%増加し、平成12年10月以来32か月振りに前年を上回っている。

内訳をみると、百貨店は身の回り品、飲食料品、その他の商品で前年を上回ったため、同1.8%増加し、3か月振りに前年を上回った。また、スーパーは飲食料品で前年を上回ったため、同0.6%増加し、平成9年11月以来の増加となっている。

乗用車新規登録台数(9月)は7,478台となり、前年同月比で0.8%減少している。

内訳をみると、小型車、軽自動車ともに前年を上回ったものの、大型車、中型車が13か月連続で前年を下回っている。

(2) 建設需要

新設住宅着工戸数(8月)は総戸数1,182戸となり、前年同月比で5.6%増加し、5か月振りに前年を上回っている。

内訳をみると、貸家が5か月振りに前年を上回っている。

公共工事請負金額(9月)は総額約334億円となり、前年同月比で3.2%減少している。

内訳をみると、地方の機関は4か月振りに前年を上回ったものの、国の機関は2か月連続で前年を下回っている。

業務用建築物着工棟数(8月)は130棟となり、前年同月比で5.8%減少している。

内訳をみると、商業用では5か月振りに前年を上回ったものの、鉱工業用は11か月連続、サービス業用は3か月振りに前年を下回っている。

(3) 生産活動

鉱工業生産指数(8月)は95.2となり、前年同月比で7.8%上昇し、5か月連続で前年を上回っている。

投資財生産指数(8月)は63.7となり、前年同月比で12.0%低下している。

内訳をみると資本財、建設財ともに前年を下回っている。

消費財生産指数(8月)は105.7となり、前年同月比で0.3%低下し、2か月振りに前年を下回っている。

内訳をみると非耐久消費財は2か月連続で前年を上回ったものの、耐久消費財は2か月振りに前年を下回っている。

鉱工業出荷指数(8月)は111.7となり、前年同月比で9.8%上昇し、7か月連続で前年を上回っている。**鉱工業在庫指数(8月)**は108.5となり、前年同月比で8.2%低下している。

大口電力使用量(8月)は前年同月比で4.6%増加となっている。**大口電力契約量(8月)**は前年同月比で2.6%減少となり、10か月連続で前年を下回っている。

(4) 雇用・労働

新規求人倍率(8月)は0.95倍(季節調整値)となり、前月比で0.11ポイント上昇した。

有効求人倍率(8月)は0.49倍(季節調整値)となり、前月比で0.03ポイント上昇した。

なお、有効求人数は21,450人(前年同月比4.8%増)となり、15か月振りに前年を上回った。有効求職者数は44,098人(前年同月比7.8%増)となり、依然として高水準にある。

雇用保険受給者実人員(8月)は20,620人となり、前年同月比で7.0%増加している。

現金給与総額指数(名目)(8月)は88.0となり、8か月連続で前年同月を下回っている。

所定外労働時間指数(8月)は85.4となり、16か月連続で前年同月を下回っている。

常用雇用指数(8月)は96.5となり、11年2月以降、前年同月を下回る動きが続いている。

(5) 物価

卸売物価指数(全国・9月)は94.5となり、前年同月比で0.7%下落している。

消費者物価指数(福島県・9月)は98.2となり、前年同月比で0.8%下落している。

(6) 企業・金融

企業倒産(9月)は、件数は23件となり、前年と同水準となった。負債総額は45億2800万円となり、前年同月比で27.4%減少している。

倒産件数を業種別にみると、建設関係が9件で最も多くなっている。また、理由別では販売不振が12件となっている。

金融機関預金残高(8月)は総額5兆6314億円となり、前年同月比で1.4%減少し、17か月連続で前年を下回っている。一方、貸出残高は総額3兆6925億円となり、前年同月比で6.1%減少し、7か月連続で前年を下回っている。

貸出約定平均金利(8月)は、2.261%となり、前月比で0.004ポイント上昇し、4か月振りに前月を上回っている。

(7) 中小企業の業況

県内中小企業の業況感を表すDI値(9月)は45.0となり、前月に比べ0.1ポイント悪化している。

業種別にみると、製造業で改善したものの、卸売業、小売業、建設業で悪化している。

2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H10年	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
13	250,066	223,363	79,253	4,290	15,010	1,174	378,117	192,976	1,621	75,215
13年3月	22,504	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	18,058	16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	19,262	17,874	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11	19,395	18,640	6,219	345	1,303	106	23,617	14,388	137	6,073
12	25,861	24,910	5,400	336	1,306	95	29,327	12,744	101	5,732
14年1月	21,275	19,266	5,404	281	996	84	13,563	9,612	121	5,086
2	17,151	15,178	6,765	394	1,049	86	15,184	8,672	103	4,946
3	20,432	18,508	11,359	585	1,041	89	38,838	25,293	98	5,159
4	19,493	17,696	5,312	311	1,346	99	34,120	19,586	140	5,600
5	19,774	17,701	5,716	326	1,161	106	20,954	13,415	110	5,771
6	19,166	17,812	6,272	385	1,307	102	37,351	15,557	157	6,128
7	20,126	19,651	6,663	403	1,216	96	41,897	17,773	137	6,178
8	P 20,216	P 17,187	4,603	283	1,182	98	24,261	13,848	130	5,731
9			7,478	429			33,434	16,478		
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.6	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
13	4.3	3.0	2.1	0.7	5.2	4.6	7.2	7.8	13.0	7.5
13年3月	3.4	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	3.6	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.4	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.5	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11	4.5	0.7	5.5	2.1	3.4	1.2	27.3	5.8	25.9	9.5
12	6.2	2.6	7.7	0.5	4.0	12.9	17.1	11.6	40.9	12.5
14年1月	3.9	2.1	6.9	5.2	8.9	3.5	9.3	2.0	5.2	11.5
2	7.4	4.7	7.9	1.6	3.8	2.8	37.7	17.3	9.6	11.1
3	5.4	1.4	6.2	2.6	13.4	6.3	23.8	18.6	1.0	12.4
4	4.5	2.0	5.4	5.7	5.7	0.6	3.2	3.8	17.6	11.7
5	0.3	1.6	3.6	8.8	5.6	5.8	2.0	3.4	24.7	11.1
6	1.1	0.5	9.1	0.5	2.8	0.3	3.0	4.8	1.3	13.2
7	5.6	5.7	5.7	0.5	16.1	6.7	5.0	3.9	9.3	13.3
8	0.8	0.1	1.6	5.3	5.6	6.7	35.6	13.0	5.8	14.1
9			0.8	13.6			3.2	8.3		
備考	百貨店とスーパーの計 前年同期(月)比は店舗調整後		大型、中小型、軽乗用車の計 「新車登録台数実績表」		持家、貸家、給与住宅、分譲 住宅の計		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計		鉱工業用、商業用、サービス業用 の計	
資料	「商業動態統計調査」		自動車販売店協会		「月刊住宅着工統計」		「公共工事前払金保証統計」		「建設統計月報」	
出所	経済産業省		軽自動車協会		国土交通省		保証事業会社協会		国土交通省	

rは訂正值、 Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H10年	97.7	98.4	86.5	96.6	106.8	100.6	104.7	99.7	131.5	105.0
11	98.6	99.2	83.2	92.6	111.2	101.3	106.1	101.0	136.5	95.9
12	101.6	105.0	87.1	97.4	111.8	102.6	108.2	107.1	147.9	95.2
13	94.3	96.8	79.6	92.1	108.8	99.1	105.1	99.1	113.0	97.7
13年 3月	105.7	114.3	102.2	129.5	120.4	109.8	114.3	122.2	111.6	94.1
4	93.1	97.1	67.2	88.7	106.0	99.6	100.8	96.7	119.2	97.4
5	93.1	93.7	74.6	84.0	109.3	97.1	100.3	93.4	121.5	100.6
6	96.2	98.2	81.5	91.3	111.8	103.5	104.9	99.8	120.5	101.2
7	95.9	97.3	78.6	87.6	112.0	102.6	107.4	99.6	120.8	100.8
8	88.3	88.9	72.4	81.5	106.0	93.1	101.7	90.7	118.2	100.2
9	92.3	96.4	79.6	99.1	109.6	97.3	109.6	102.1	110.9	94.2
10	94.0	95.5	75.4	84.0	111.1	104.4	109.7	95.7	102.7	96.0
11	92.2	93.6	78.7	85.4	111.6	99.5	107.7	95.8	100.5	95.8
12	89.2	90.6	72.0	84.3	109.8	95.8	103.3	94.5	97.2	92.2
14年1月	85.0	84.3	68.8	77.9	92.0	84.4	95.7	85.3	89.8	95.3
2	91.3	89.8	75.5	82.6	98.3	94.1	104.3	92.5	101.5	95.1
3	100.6	103.1	90.3	110.9	107.9	101.8	115.0	112.0	102.4	86.7
4	96.1	91.2	61.6	75.0	110.1	95.8	109.7	92.9	103.3	87.0
5	97.3	91.8	66.3	74.7	107.8	93.9	112.0	93.6	104.2	89.2
6	99.3	95.8	72.1	82.6	107.2	98.2	117.4	97.8	109.1	89.0
7	r 105.6	101.0	72.8	85.8	r 116.7	103.7	r 125.1	102.8	115.2	89.9
8	P 95.2	90.5	P 63.7	78.3	P 105.7	89.5	P 111.7	94.3	P 108.5	88.5
9										
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	3.8	2.2	6.6	3.1	0.9
11	0.9	0.8	3.8	4.1	4.1	0.6	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.8	4.7	5.2	0.5	1.3	2.0	6.1	8.4	0.7
13	7.2	7.7	8.6	5.5	2.7	3.4	2.9	7.5	23.6	2.6
13年 3月	5.7	2.8	8.4	2.3	2.4	2.7	4.0	2.6	25.8	3.0
4	5.5	4.1	4.8	1.0	7.9	2.2	4.5	5.2	24.0	4.6
5	1.2	3.8	0.8	2.1	5.9	0.4	0.6	3.7	16.8	5.6
6	6.1	8.5	4.8	4.7	3.3	3.5	5.8	8.4	16.6	4.9
7	6.9	8.1	7.7	4.8	4.5	2.7	4.1	7.7	14.5	3.7
8	9.5	11.6	10.3	12.4	5.3	2.5	5.1	11.3	13.4	3.7
9	12.3	12.4	18.5	10.9	2.9	6.4	0.1	11.8	21.5	3.1
10	11.5	11.5	15.9	12.1	4.9	2.6	0.9	11.3	31.7	0.6
11	12.5	13.3	13.9	13.7	4.9	7.0	1.7	12.4	30.2	0.7
12	16.2	15.5	28.8	16.7	4.9	9.4	10.1	14.4	27.5	2.1
14年1月	9.1	11.3	15.6	12.2	0.6	3.4	1.2	10.3	25.5	3.7
2	7.1	11.5	16.9	18.1	6.9	4.9	0.3	10.5	9.6	5.4
3	4.8	9.8	11.6	14.4	10.4	7.3	0.6	8.3	8.2	7.9
4	3.2	6.1	8.3	15.4	3.9	3.8	8.8	3.9	13.3	10.7
5	4.5	2.0	11.1	11.1	1.4	3.3	11.7	0.2	14.2	11.3
6	3.2	2.4	11.5	9.5	4.1	5.1	11.9	2.0	9.5	12.1
7	10.1	3.8	7.4	2.1	4.2	1.1	16.5	3.2	4.6	10.8
8	7.8	1.8	12.0	3.9	0.3	3.9	9.8	4.0	8.2	11.7
9										
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料	「鉱工業指数月報」福島県電子社会推進統計室									
出所	経済産業省									

rは訂正值、 Pは速報値

区分 年月	雇用・労働						
	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全 国	福島県	福島県	全 国	福島県	全 国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H10年	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.09	1.05	0.65	0.59
13	5,046,831	259,858	1,259,922	0.87	1.01	0.54	0.59
13年 3月	441,527	22,104	1,267,198	1.05	1.06	0.66	0.62
4	407,467	20,980	1,262,355	1.00	1.07	0.63	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.95	1.07	0.61	0.62
6	435,646	22,472	1,264,528	0.90	1.06	0.57	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.85	1.01	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.81	0.99	0.50	0.58
9	416,886	21,903	1,266,255	0.76	0.97	0.48	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.90	0.44	0.54
11	408,656	20,917	1,238,398	0.66	0.90	0.41	0.52
12	409,425	20,751	1,235,205	0.65	0.91	0.39	0.51
14年1月	393,276	19,838	1,233,051	0.73	0.85	0.39	0.51
2	396,846	19,774	1,230,761	0.79	0.88	0.40	0.50
3	416,952	21,031	1,229,369	0.76	0.94	0.41	0.51
4	414,574	20,609	1,228,924	0.73	0.90	0.42	0.52
5	413,388	21,117	1,230,732	0.77	0.95	0.40	0.53
6	430,514	22,151	1,234,668	0.84	0.96	0.43	0.53
7	471,051	23,657	1,226,431	0.84	0.89	0.46	0.54
8	429,259	22,151	1,241,868	0.95	0.98	0.49	0.54
9							
	対前年同期(月)変化率(%)			対前月(期)			
H10年	2.4	3.0	2.7	0.39	0.28	0.30	0.19
11	2.9	0.5	0.0	0.03	0.05	0.06	0.05
12	9.0	3.8	2.5	0.20	0.18	0.14	0.11
13	0.9	2.6	2.7	0.22	0.04	0.11	0.00
13年 3月	7.0	0.3	4.9	0.00	0.03	0.02	0.02
4	6.2	0.4	4.1	0.05	0.01	0.03	0.00
5	5.5	1.0	4.2	0.05	0.00	0.02	0.00
6	2.5	2.3	3.6	0.05	0.01	0.04	0.01
7	1.1	1.2	3.7	0.05	0.05	0.03	0.01
8	2.9	4.5	3.3	0.04	8.33	0.04	6.45
9	4.1	6.0	2.1	0.05	0.02	0.02	0.01
10	4.6	4.7	0.4	0.04	0.07	0.04	0.03
11	6.4	5.5	1.1	0.06	0.00	0.03	0.02
12	7.6	6.0	1.5	0.01	0.01	0.02	0.01
14年1月	7.0	6.3	1.9	0.08	0.06	0.00	0.00
2	3.9	5.2	2.6	0.06	0.03	0.01	0.01
3	5.6	4.9	3.0	0.03	0.06	0.01	0.01
4	1.7	1.8	2.6	0.03	0.04	0.01	0.01
5	1.2	0.7	2.7	0.04	0.05	0.02	0.01
6	1.2	1.4	2.4	0.07	0.01	0.03	0.00
7	3.2	0.4	4.0	0.00	0.07	0.03	0.01
8	4.6	0.8	2.6	0.11	0.09	0.03	0.00
9							
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			「雇用失業情勢」 福島労働局職業安定部			

区分 年月	15 有効求人人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)		
H10年	19,279	1,265	33,982	2,395	16,244	1,021	101.4	100.7
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	98.3	99.4
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.0	100.0
13	21,956	1,534	40,363	2,598	17,937	1,080	100.7	98.9
13年 3月	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.1	85.5
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.4	82.2
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.3	80.7
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	142.8	136.7
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	108.7	121.8
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	91.9	87.1
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	82.8	80.1
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	83.8	80.5
11	20,151	1,455	44,305	2,616	20,404	1,138	82.9	83.2
12	17,386	1,310	42,994	2,546	20,521	1,112	190.2	182.2
14年1月	17,591	1,368	44,841	2,715	21,252	1,136	82.2	83.5
2	18,037	1,437	43,949	2,725	20,606	1,101	80.8	79.0
3	19,820	1,589	45,749	2,832	19,806	1,047	85.7	84.9
4	19,750	1,571	50,641	3,096	21,231	1,068	79.9	80.8
5	18,416	1,443	50,544	3,028	22,410	1,151	79.8	78.9
6	18,557	1,380	48,010	2,858	21,547	1,114	129.9	132.2
7	20,610	1,439	47,133	2,815	22,288	1,177	105.2	115.2
8	21,450	1,451	44,098	2,693	20,620	1,159	88.0	84.5
9								
	対前年同期(月)変化率(%)							
H10年	22.4	15.3	19.4	15.6	21.5	16.8	3.1	1.9
11	3.5	4.6	8.2	5.6	7.1	5.1	3.1	1.3
12	25.9	22.0	2.2	0.9	6.9	3.3	1.7	0.6
13	6.2	4.1	12.2	3.6	10.8	4.0	0.7	1.1
13年 3月	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.8	0.3
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.4	0.0
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	2.0	0.1
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	3.3	0.9
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	2.1	4.9	0.5
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	9.8	0.9	2.0
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.3	1.2
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	0.8	1.2
11	24.5	9.9	31.4	10.8	29.5	9.6	1.8	1.3
12	29.0	13.6	33.2	11.3	35.6	11.2	2.0	3.6
14年1月	29.0	12.1	30.1	12.3	40.9	13.3	4.5	4.0
2	25.6	12.0	28.0	11.6	34.5	10.9	3.1	1.1
3	22.4	10.4	25.5	9.2	31.0	7.6	4.9	0.7
4	17.4	7.9	24.4	10.2	35.6	8.5	4.2	1.7
5	20.5	6.6	20.6	9.7	27.1	5.6	3.0	2.2
6	11.4	5.3	16.5	8.3	23.7	3.8	9.0	3.3
7	2.2	1.0	14.3	9.1	17.1	3.4	3.2	5.4
8	4.8	1.8	7.8	5.5	7.0	0.7	4.2	3.0
9								
備考							全産業5人以上 平成12年=100	
資料 出所	「雇用失業情勢」 福島労働局職業安定部						「毎月勤労統計調査結果速報」福 島県、厚生労働省	

区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム労働者比率		22 卸売物価指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国	福島県	全国	
H10年	104.2	97.3	101.4	100.5	12.6	16.3	97.5	100.8	101.0	
11	92.2	95.8	100.5	100.2	15.8	19.5	96.1	100.5	100.7	
12	100.0	100.0	100.0	100.0	15.4	20.2	96.1	100.0	100.0	
13	94.3	96.3	97.6	99.8	15.7	21.0	95.3	99.3	99.3	
13年3月	108.1	104.5	97.6	99.0	14.4	20.9	95.6	99.7	99.3	
4	104.9	101.5	98.0	99.9	14.9	20.6	95.5	99.6	99.5	
5	88.7	94.3	97.6	100.0	15.2	20.7	95.5	99.8	99.6	
6	89.6	94.4	97.6	100.2	15.1	20.7	95.4	99.2	99.3	
7	92.3	94.4	97.7	100.3	16.0	20.9	95.5	98.7	99.0	
8	86.2	91.5	97.4	100.1	16.9	21.1	95.4	99.2	99.4	
9	88.1	92.5	98.0	99.9	16.7	21.1	95.2	99.0	99.2	
10	90.9	94.6	97.7	99.9	16.6	21.0	94.8	99.2	99.2	
11	92.7	95.8	97.9	99.9	17.3	21.2	94.6	98.5	98.7	
12	92.6	96.8	97.3	99.9	16.4	21.5	94.6	98.5	98.6	
14年1月	83.3	89.9	96.7	99.2	15.7	21.8	94.4	98.5	98.4	
2	88.5	93.9	96.6	99.0	16.9	21.8	94.5	97.9	97.9	
3	94.8	99.0	95.6	98.6	16.6	21.8	94.4	98.0	98.1	
4	88.5	99.0	96.9	99.5	15.6	21.7	94.4	98.4	98.4	
5	86.5	91.9	96.9	99.5	15.6	21.8	94.4	98.7	98.7	
6	83.3	92.9	97.1	99.6	16.5	21.9	94.4	98.5	98.6	
7	79.2	94.9	96.8	99.6	17.6	22.0	94.4	98.2	98.2	
8	85.4	93.9	96.5	99.3	16.2	22.0	94.4	98.4	98.5	
9							94.5	98.2	98.5	
	対前年同期(月)変化率(%)				対前月(期)		対前年同期(月)変化率(%)			
H10年	1.6	9.7	1.0	1.2	1.4	0.7	1.6	1.1	0.6	
11	11.5	1.5	0.9	0.3	3.2	3.2	1.5	0.3	0.3	
12	8.5	4.4	0.5	0.2	0.5	0.7	0.1	0.5	0.7	
13	5.7	3.7	2.4	0.2	0.3	0.8	0.9	0.7	0.7	
13年3月	4.8	0.2	1.3	0.2	0.3	0.1	0.6	0.4	0.7	
4	1.9	2.2	2.7	0.2	0.5	0.3	0.7	0.7	0.7	
5	4.2	1.5	2.6	0.2	0.2	0.1	0.6	0.6	0.7	
6	5.1	2.4	2.7	0.2	0.1	0.0	0.7	1.0	0.8	
7	8.1	4.5	2.3	0.2	1.0	0.2	0.9	1.2	0.8	
8	14.0	4.6	2.7	0.2	10.5	0.2	1.1	0.9	0.7	
9	15.3	7.5	1.9	0.2	0.2	0.0	1.1	0.8	0.8	
10	12.4	7.3	2.3	0.1	0.1	0.1	1.3	0.7	0.8	
11	11.5	8.9	2.0	0.3	0.6	0.2	1.4	1.0	1.0	
12	10.5	8.9	2.2	0.3	0.8	0.3	1.5	1.3	1.2	
14年1月	13.6	6.5	0.6	0.4	0.7	0.3	1.5	1.6	1.4	
2	12.5	5.4	1.1	0.3	1.2	0.0	1.4	1.9	1.6	
3	12.3	5.3	2.0	0.4	0.3	0.0	1.3	1.7	1.2	
4	15.6	2.5	1.1	0.4	1.0	0.1	1.2	1.2	1.1	
5	2.5	2.5	0.7	0.5	0.0	0.1	1.2	1.1	0.9	
6	7.0	1.6	0.5	0.6	0.9	0.1	1.0	0.7	0.7	
7	14.2	0.5	0.9	0.7	1.1	0.1	1.2	0.5	0.8	
8	0.9	2.6	0.9	0.8	1.4	0.0	0.9	0.8	0.9	
9							0.7	0.8	0.7	
備考	全産業5人以上 平成12年=100						(総平均) 平成7年=100	(総合) 平成12年=100		
資料	「毎月勤労統計調査結果速報」福島県電子社会推進・統計室						「経済統計月報」	「福島県消費者物価指数」福島県		
出所	厚生労働省						日本銀行	総務省統計局		

区分 年月	企業・金融									
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利	
	福島県		全 国		福島県		全 国		福島県	全 国
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)	
H10年	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13	289	214,959	19,441	162,130	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
13年 3月	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559	48,079	45,056	2.330	1.896
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503	47,674	44,375	2.287	1.898
11	19	4,446	1,851	18,821	57,146	39,543	48,207	44,320	2.268	1.898
12	19	3,074	1,505	15,641	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
14年1月	13	2,393	1,620	10,673	56,221	38,870	48,514	44,303	2.298	1.878
2	23	11,833	1,712	12,714	56,240	38,686	48,958	44,251	2.298	1.875
3	13	4,017	1,788	20,411	56,464	38,552	50,287	44,061	2.281	1.877
4	27	12,724	1,641	12,765	56,860	37,048	52,156	43,486	2.300	1.879
5	20	7,047	1,696	10,846	56,572	36,624	50,477	43,151	2.274	1.881
6	25	5,290	1,415	7,032	56,956	36,985	50,507	43,184	2.263	1.868
7	17	3,634	1,814	12,035	56,225	37,155	50,110	43,003	2.257	1.872
8	17	3,787	1,562	10,592	56,314	36,925			2.261	1.866
9	23	4,528	1,514	8,179						
	対前年同期(月)変化率(%)								対前月(期)	
H10年	37.0	126.0	19.4	5.8	1.5	0.5	0.7	0.9	0.126	0.112
11	31.8	117.9	23.4	77.0	1.2	3.7	1.9	4.1	0.060	0.155
12	27.2	67.3	1.9	32.4	2.0	0.1	0.9	1.0	0.146	0.016
13	12.5	235.3	0.0	0.0	2.7	1.0	0.8	3.4	0.244	0.236
13年 3月	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	0.012	0.045
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	0.099	0.030
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	0.020	0.027
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	0.013	0.040
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	0.018	0.014
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	0.010	0.011
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1	0.7	2.1	0.000	0.029
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8	1.3	2.4	0.043	0.002
11	24.0	8.4	10.0	53.9	1.7	1.5	1.0	2.8	0.019	0.000
12	52.5	58.1	2.9	88.0	2.7	1.0	0.8	3.4	0.006	0.018
14年1月	48.0	98.0	19.3	10.1	2.7	0.0	1.4	3.4	0.036	0.002
2	35.3	4.1	18.2	14.0	3.0	3.2	2.6	3.2	0.000	0.003
3	40.9	12.6	5.0	13.8	1.2	4.4	5.5	3.6	0.017	0.002
4	6.9	30.3	0.6	21.8	2.2	8.9	7.0	3.4	0.019	0.002
5	0.0	43.7	1.6	6.2	1.5	8.5	4.1	3.2	0.026	0.002
6	13.6	1.0	9.5	1.8	1.8	7.2	4.7	3.5	0.011	0.013
7	43.3	75.2	15.8	61.1	1.8	5.9	4.6	3.5	0.006	0.004
8	50.0	65.3	3.1	44.0	1.4	6.1			0.004	
9	0.0	27.4	3.4	72.7						
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース	
資料	「福島県内企業倒産集計」帝国データバンク福島支店				県、国ともオフショア勘定を含む。					
出所	帝国データバンク				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「経済統計月報」日本銀行					

区分	27 中小企業業況判断DI						市場		
	福島県						28 株式		29 円相場
	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価 東証株式 (第1部)	出来高 東証株式 (第1部)	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均
年月							(円)	(100万株)	(円/米ドル)
H10年	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77
13	-	-	-	-	-	-	12,102.37	199,533	121.53
13年3月	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31
12	65.2	68.7	59.2	61.7	64.5	61.6	10,496.20	17,996	127.36
14年1月	64.5	66.1	65.3	53.0	75.9	56.6	10,300.79	14,641	132.66
2	61.7	60.6	68.6	57.3	68.1	56.1	9,981.65	16,456	133.52
3	51.0	46.5	62.3	56.1	55.4	46.8	11,448.80	20,601	131.20
4	50.5	46.6	70.8	52.1	50.6	47.2	11,384.49	17,470	131.07
5	50.5	44.6	70.7	53.9	51.1	47.8	11,709.62	20,000	126.48
6	51.6	44.6	58.7	58.0	63.1	47.9	10,965.88	17,395	123.60
7	46.2	36.0	62.2	53.8	53.8	50.6	10,352.27	18,060	118.07
8	44.9	36.1	58.1	50.8	50.0	52.8	9,751.20	15,775	119.01
9	45.0	28.9	60.7	64.4	53.9	52.7	9,354.01	16,553	120.50
	対前月						対前月(期)		
H10年	-	-	-	-	-	-	3,005.34	16,062	9.98
11	-	-	-	-	-	-	1,428.68	19,605	16.99
12	-	-	-	-	-	-	372.26	28,400	6.14
13	-	-	-	-	-	-	5,058.40	29,933	13.76
13年3月	5.3	8.6	15.2	20.2	10.1	1.5	557.80	5,641	5.08
4	2.2	5.6	3.1	0.5	11.4	14.0	703.37	851	2.71
5	2.8	4.4	10.5	2.2	8.6	3.7	563.71	1,875	1.90
6	5.9	6.9	8.1	6.3	5.5	0.3	1,000.66	712	0.22
7	0.0	4.2	15.6	3.1	0.6	4.7	823.78	3,373	2.53
8	3.6	1.8	16.6	2.4	3.3	7.9	574.90	2,970	3.07
9	3.2	3.9	2.6	9.0	2.8	2.1	1,579.38	1,060	2.63
10	3.2	0.8	4.6	2.3	13.0	11.3	442.07	1,269	2.30
11	0.3	4.4	4.9	6.7	9.8	1.2	72.32	844	1.03
12	1.3	0.8	14.3	10.1	4.5	5.1	15.02	1,568	5.05
14年1月	0.7	2.6	6.1	8.7	11.4	5.0	195.41	3,355	5.30
2	2.8	5.5	3.3	4.3	7.8	0.5	319.14	1,815	0.86
3	10.7	14.1	6.3	1.2	12.7	9.3	1,467.15	4,145	2.32
4	0.5	0.1	8.5	4.0	4.8	0.4	64.31	3,131	0.13
5	0.0	2.0	0.1	1.8	0.5	0.6	325.13	2,530	4.59
6	1.1	0.0	12.0	4.1	12.0	0.1	743.74	2,605	2.88
7	5.4	8.6	3.5	4.2	9.3	2.7	613.61	665	5.53
8	1.3	0.1	4.1	3.0	3.8	2.2	613.61	665	5.53
9	0.1	7.2	2.6	13.6	3.9	0.1	601.07	2,285	0.94
備考	前年同期(月)比で「良い」、「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場
資料 出所	福島県産業振興センター						日本経済新聞社	東京証券取引所	日本銀行

3 景気動向指数(福島県)

概括

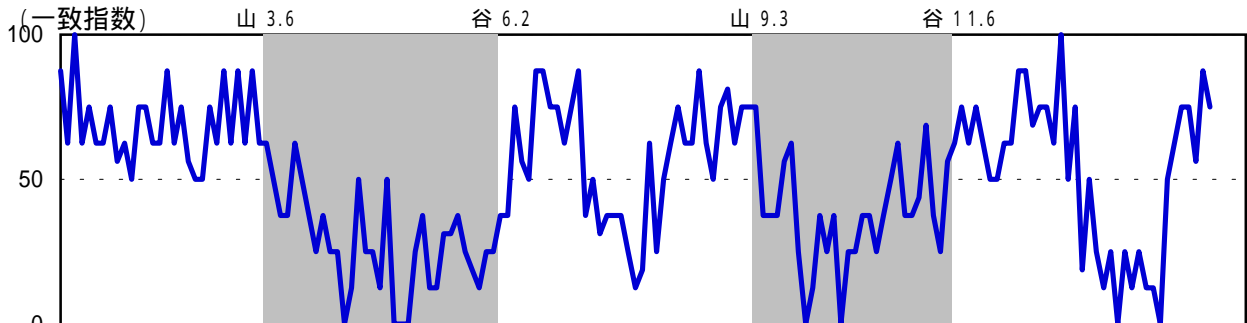
7月の景気動向指数は、先行指数61.1%、一致指数75.0%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、2か月振りに50%を上回った。

一致指数は、6か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、6月に50%を上回った後、50%となった。

景気動向指数(DI)グラフ



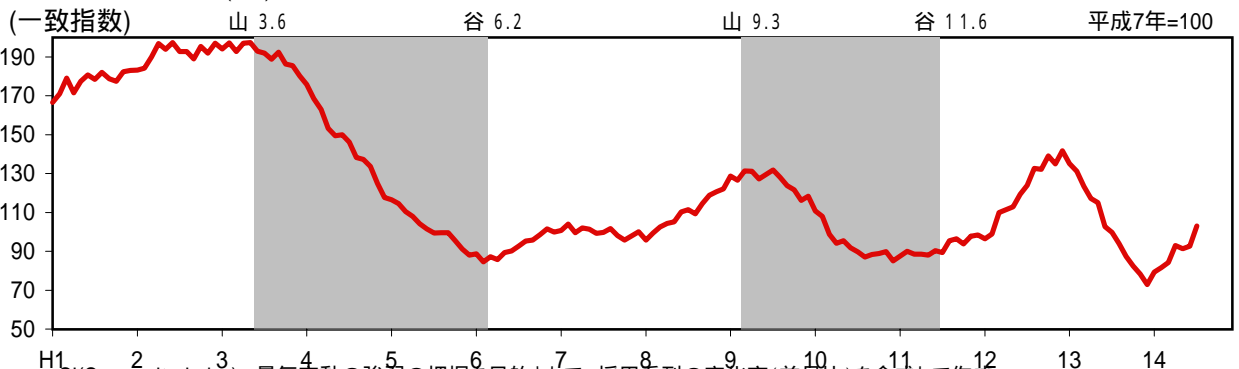
DI(Diffusion Index) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。
 おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張期、下回っていれば景気後退期と判断される。

DI表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
13年3月	38.9	25.0	42.9	8.3	9.1	42.9
4	33.3	12.5	28.6	41.7	18.2	28.6
5	33.3	25.0	14.3	58.3	27.3	28.6
6	22.2	0.0	28.6	16.7	18.2	28.6
7	44.4	25.0	42.9	29.2	9.1	71.4
8	33.3	12.5	28.6	25.0	0.0	42.9
9	22.2	25.0	28.6	16.7	9.1	28.6
10	11.1	12.5	14.3	0.0	9.1	28.6
11	27.8	12.5	42.9	0.0	18.2	14.3
12	22.2	0.0	14.3	33.3	27.3	28.6
14年1月	66.7	50.0	14.3	58.3	45.5	14.3
2	44.4	62.5	14.3	58.3	54.5	14.3
3	55.6	75.0	28.6	83.3	68.2	28.6
4	38.9	75.0	71.4	r 79.2	r 81.8	r 57.1
5	77.8	56.3	42.9	r 91.7	r 100.0	r 42.9
6	33.3	87.5	85.7	r 75.0	r 81.8	r 57.1
7	61.1	75.0	50.0	P 70.0	P 90.0	P 50.0
8				P 40.0	P 80.0	P 50.0
採用指標数	9指標	8指標	7指標	12指標	11指標	7指標
資料	県:電子社会推進・統計室「福島県景気動向指数」			rは訂正值、Pは速報値		
出所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

参考 景気総合指数(CI)グラフ



CI(Composite index) : 景気変動の強弱の把握を目的として、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。
 一般に、一致指数が上昇しているときが景気拡張期、下降しているときが景気後退期である。

製 造 業

買手市場化し、併せてデフレ時代となり、加工業界はコストダウンに取り組んでも採算割れとなっている。流通の再編も過渡期であり待つほかない。

【食料品】

各地方で、製造業者が1、2社ずつ辞めている(整理されている)。どこもマイナスに傾いている状態だ。

【食料品】

製品の多様化により、人手が多くなり人件費の占める経費が上昇する。売上の増加による売掛金、在庫が多くなり、資金繰りが悪化する。

【食料品】

人員整理、減給の検討。

【酒造】

最盛期の秋冬物もたいしたことなく、春物との境目が心配のこの頃である。国の政策はどう変わるか注目したい。

【縫製】

銀行による「貸しはがし」の圧力が非常に強くなっている。返済等の実績に全く問題がなくても金利上げや返済等を強圧してくるようになっている。政府の中小零細企業対策が後退しているので倒産企業が益々増加するであろう。株価も暴落するのではないか。

【鉄鋼・非鉄】

金融機関の貸し渋りがある。【木材・木製品】政府に経済政策の見直しをしてもらわないと努力にも限界がある。

【木材・木製品】

中身が変化する。従来品がなくなるので、新規品を安くしても受注していく。【木材・木製品】特に印刷用紙の仕入値の9、10月分より10~20%の値上がりは、今後の需給動向と収益率の悪化に影響大と予測する。

【印刷】

販売単価の下落。何でも安くたたいてくる。体質が悪い。

【窯業・土石】

自社、業界とも悪い。自社従業員を平成15年1月より半分にする。また、9月より就業日数週4日にして週26時間就業に改正した。【窯業・土石】中国、東南アジア等の競合商品により専門店が不振になり、その影響で販売不振である。

【窯業・土石】

各社により、状況が激変している。

【窯業・土石】

今月は3か月前と比較すると約7割の売上になってきている。これから先もう少し厳しい予想をしている。

【金属】

従来の客先受注も前年より良く、新規の取引先も増加した。新しい業界への取り組みを期待している。

【金属】

上半期が終わり、売上前年比で7%の減収。下半期で取り戻せるように新商品を販売させたい。

【電気機器】

短期的に良化となっているが、中国へのシフトにより、半年から1年以内には経営環境は確実に悪化することが予想される。パソコン、携帯電話のパーツを生産しているが具体的な動きになってきている。

【電気機器】

製品コストダウンが厳しいにもかかわらず、人件費、雇用保険のアップ等官僚の考えることは理解できない。益々国内の製造は中国へ転化されると

思う。

【電気機器】

昨年の同時期はIT不況に見舞われたが、現在は一時的ではあるが受注量としてはまあまあである。デフレ不況が更に厳しくなる様相を呈しているので、平成15年1~3月の仕事量が大幅に減るのではないか。

【精密機器】

建 設 業

今年の受注は、対前年比70%行けばよいくらい大幅に減少している。ここ数年、あまりにも急に公共工事を減らしすぎだ。益々景気は悪くなるだろう。

【土木】

卸 売 業

環境は非常に厳しいと感じている。【衣服】各金融機関の貸し渋りがここ数か月ひどい状況にある。

【飲食料】

昨年1年間での経営改革の成果が出てきて、収益力のアップは図られているが、資金繰りは依然厳しい。しかし、利益計上あって借入はできている。

【機械器具】

構造不況(農家数減、農産物安価、減反強化等)の為、前年をキープするのが難しい。

【機械器具】

小 売 業

東電問題で受注激減。【中小スーパー】大手スーパーの連日の特売チラシと、回りの人々の仕事が無いこと、住人の高齢化等々が響いている。明日が見えない。【飲食料】大変厳しい。中小企業に緊急な対応をお願いしたい。【家具・建具】今月は販売点数の伸びは小さかったが、平均1点単価が前年比100%になった。単価が下げ止まった感があるが、債権処理いかんか。【大規模店】販売額は何とか前年並みを維持しているが、粗利益額(販売単価)のダウンはまだ止まってはいない。【その他】季節が良好で需要が少ない。【その他】

サ ー ビ ス 業

昨年と違って、大きな設備投資が無い分、資金繰りと採算は前年比良化となっている。

【観光旅館】

10、11月で頑張る。

【観光旅館】

固定資産税の軽減、水道料金の軽減について...

非常に深刻である。

【観光旅館】

販売価格を抑えないとダメ。

【観光旅館】

為す術が無い。

【観光旅館】

タクシーサービスが好調なため、見通しは明るい。

【タクシー】

他社との差別化が重要。

【タクシー】

受注減少が進み、利益が減少。従って人員の整理を考えなければならなくなった。【自動車整備】

食品製造業

(1) 乳製品：全国乳業協同組合連合会主催による東北ブロックにおける研修会が、この10月に福島市において開催される。主テーマは「牛乳・乳製品の品質管理の原点に立ち返る」で、永遠のテーマである「安全・安心」をあらためて再確認することになる。

(2) 豆腐油揚：9月は涼しくなり、冷や奴の売れ行きが大きく落ち込んだ。さらに加工品が例年より売れず全体的に売上が落ち込んでしまった。また乱売も目立って多くなった。

(3) パン：食糧庁によるパン生産量調査によれば、今年6月までの生産量で-3.9%となっている。特に中小企業では-9.6%、大手でも-1.6%(いずれも前年比)となっている。全体の生産量が減少とはいえ、大手のシェア拡大はますます進んでいる。

しかし昨年の都道府県別の本県パン生産量は、全国が-0.5%なのに対し、+3.4%の伸びとされており、実感としては信じられない数字である。それでもなお本県は全国で30位。東北でも宮城県17位、青森県24位、岩手県25位の次である。対岩手県で約2千トン余(37%)の差があり、まだまだ追いつけないのが現状である。

(4) 味噌醤油：8月に続き9月の業況はあまり良い状態とは言えない。味噌・醤油などの加工食品はあまり景気に左右されないとされていたが、市場価格は低下傾向である。特に1.8リットル容器の醤油の安売りはさらに続いている。また、味噌については大手企業の倒産など、業界に取って大変ショッキングなことが起こっている。専業の味噌・醤油の売上が伸びず他の事業に利益を求めた者や、出荷が伸びずそれを補うために過度の低価格販売をした者が命取りになっている。業界として何とか立て直しを図り、歯止めがかかるよう努力している。

また、来年4月から改正JAS法が新体制に移行することになっているが、これらについてもまだ流動的な面が多く、具体化が予定より遅れている。このJAS法改正は当県中小企業にとって大きな負担となり、今後後継者問題と併せて中小零細企業は不安を抱えている現状である。

(5) 乾麺：商品の入れ替え期であるが産地性、地域性が品揃えの優先となり、ブランド力中心に変わってきている。

半生麺が乾燥棚に並ぶなど変化が現れてきた。

麺類の消費は増えているが単価下落により収益は悪い。

繊維・同製品

(6) 縫製品：昨年以上に難しい現況である。海外生産に力を入れているアパレルメーカーばかり

で、国内工場はこれから先本当に経営が難しい。毎年7、8、9月には1社か2社自己閉鎖している。

木材・木製品製造業

(7) 製材業：(外材輸入) 輸入価格が強含んでいることから、各社が販売価格へ一部転化をしたことで収益、資金繰りは一次的に好転している。しかし、今後の産地(主に北米、北欧)高値材契約は減少し、年内は低水準の需給となる。

(8) 家具：市内にて恒例の「二本松家具祭り」を開催した。県内全域よりの来場者があったが、来場者数、売上とも昨年より若干低調だった。

紙・紙加工品製造業

(9) 紙器段ボール箱：当業界は部分的に好況・不況に分かれている。特に衣料、漆器関係にユーザーを持つ貼箱業者は受注量が少量で、しかも過当競争がますます激しさを増している。

印刷紙器業者は最近大手企業からの受注量が多くなり、一時的とはいえ繁忙の毎日である。

段ボール箱業者は季節的に受注量が多いものの、シートの3~7%の値上げ攻勢に苦慮している現状である。

出版・印刷

(10) 印刷：受注量の激減に起因する価格破壊、不当競争が進行している。

9月21日出荷分から用紙の値上げ(10~15%)があった。業界自体は年末に向けて活気のある時期だが、ユーザーに対して値上げは無理だと思われる。よって、業界が更に一段と悪い状況に入ると思われる。

窯業・土石製品製造業

(11) 陶磁器：売上が回復せず非常に厳しい。

(12) コンクリート製品：公共事業削減による製品需要の低下に対応するため、生産設備の操業率のダウンや雇用人員の整理等により、在庫数量の減少を図るとともに経営の効率化に努めている。

また、製品の取引にあたっては、現金取引により倒産等のリスクの軽減に努めている。

(13) 砕石：(いわき地区) 取引先に砕石単価の値上げ要請をしたが受諾の確認をするには至っていない。

(14) 生コン：官公需・民需ともに低調である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(15) (郡山地区)

業況は全く改善の兆しもない。

(16) 各種プラント機器：当プラント設備関連業界は、前月に引き続き売上高、販売価格ともに低調裡に推移している。設備投資は公共・民間ともに減少傾向が続いており、そのため収益状況が悪化し厳しい経営を強いられている。

(17) 電子工業：9 月末において三次下請けの小企業の廃業等が進行している。10 月以降も増える傾向になっている。

卸売業

(18) 卸売業：(県中地区) 例年にも増して台風、長雨の影響が大きかった。前半は低温の影響で秋冬物が売れたが、相変わらず新しいヒット商品は出ていない。

(県南地区) 景況は全体として悪化の傾向で、更に悪化を辿ると思われる。売上高の減少に伴って収益は悪化、資金繰りも悪化している。各金融機関とも企業に対してランク付けをし、貸付枠を見直して回収に走っている。

組合としては、県の制度資金「福島県緊急経済再生特別資金」の活用を組合員に勧めている。

(19) 再生資源：各スクラップの市況は9月の体制としては保合で推移した。ただ鉄屑・古紙はメーカーの需要増加や輸出継続で需給にタイト感が出ている。従って10月には価格の上昇も期待できる。9月、10月は集団資源回収のピークとなるが発生減や低価格で採算性は低い。

(20) 肥料卸：6月～8月にかけて3か月連続で前年比売上増の反動か、9月は前年比で若干減少した。

秋肥は果樹関係で石灰類の需要があるところであるが、本年は無登録農薬問題の影響を受け、農家が資材費削減をしていることから出荷数量の減少につながっているものと考えられる。

小売業

(21) 米穀：新米出荷最盛期を迎えたが、米余り基調の中、本年の作況は平年作のやや良と発表され、過剰基調の機運は一段と強い。需要は低調に推移しており、新米切り替えになっても消費者の関心は薄く業界全体の景況は悪い。

商店街

(22)

福島市：株安、大企業の不祥事続出でムードが悪く個人消費は最低だった。

郡山市：大町商店街振興組合の組合員店にインターネットへの参加呼びかけを開始した。約半数の応募があり、まずまずのスタートである。

原町市：ダイエーグループ、プチマート(第二種大型店)の2店舗の閉店の発表、商店会会員の店舗閉館の噂と暗い話ばかりの昨今である。こうした中、今年7月から隣接商店会とタイアップしてイベント「ヘソのまちレシートまつり」を実施中である。9月に3か月の集約として歩行者天国を開催したところ、大変な賑わいで大いに元気づけられた。12月と来年3月にも実施計画中である。

サービス業

(23) クリーニング：総務省統計局の家計調査で2002年上半期のクリーニング支出がまとまった。当県は、平成13年度よりほんの少々アップしたが、気になるのは来店率である。年々下がって平成14年度は4.17回という数であった。お客様が訪れなければクリーニング支出は上がらないし、客単価増も見込めない。やはり来店して頂く戦略、アイデアが必要だと思う。

(24) 美容業：美容室は増加しているものの、組合員美容室は減少という傾向が全国的に続いている。特に若手美容師の組合離れが顕著である。

建設業

(25) 建設業：(県南地区) 公共工事、民間工事ともに安値受注が増加し、経営内容が悪化した。白河市の公共下水道は10月以降発注の見通し

(26) 電気工事：10月1日から「でんき元気」という企画事業を展開する。現在、受注確保が厳しい現状において電気業界の生き残りをかけ、「ストック需要の創出」と「生涯顧客化」戦略を目的とした、従来にない形での提案型技術営業と業界自体の元請化を狙いとした、新たな戦略を発進予定である。

(27) 管工事：前月比で給水、排水申請とも増加したが、前年同月比の累計では両申請ともマイナス実績となっている。

組合員1社が9月末に倒産したため、その影響から組合の今後の収支はやや悪化する見通しである。(福島市)

運輸業

(28) トラック運送：(県北地区) 輸送量の停滞、運賃水準の低下、燃料価格の高騰、規制緩和にとともに熾烈な競争、厳しい環境対策としての最新規制適合車への買い換え、高速道路料金、9種にも及ぶ自動車関係諸税及び荷主の倒産など七重苦ないし八重苦に喘いでいる。

特に、来年10月から始まる東京都の環境確保条例や自動車NOx(窒素酸化物)・PM(粒子状物質)法などをもとに、ディーゼル車への環境規制が一段と厳しくなっていることから、ディーゼル排気微粒子除去装置(DDF)速度抑制装置(スピードリミッター)の装置環境対策のための資金確保は困難であり、ETC(高速料金所ノンストップ通過システム)の車載器とあわせてその支援策を強く望んでいる。

(29) ハイヤー、タクシー：例年9月は売上が前月比で微増となっていたが本年は不変となった。

10月からの福島競馬開催に期待したい。

参考

1 「福島県金融経済概況」

平成14年10月1日 日本銀行福島支店

(景気は、下げ止まりから緩やかながら持ち直しに転じつつある)

県内景気は、生産拡大テンポが鈍化しているものの、労働需給が徐々に改善してきているなど、下げ止まりから緩やかながら持ち直しに転じつつある。

すなわち、情報通信・電子部品関連企業では、海外における在庫積み増しの一巡などから増勢は鈍化しているものの、高水準の生産が続いている。また、自動車部品関連の一部企業では好調車種向けや輸出の増加に伴い生産を引き上げる動きがみられている。

雇用情勢も情報通信・電子部品関連企業を中心とした求人の増加により、労働需給は徐々に改善している。

一方、設備投資は、投資額を一段と圧縮する動きは弱くなってきているが、依然として前年を下回っている。公共投資は減少基調にあるほか、住宅投資も振れをならしてみれば低調に推移している。

さらに、個人消費も全体としては引き続き力強さに欠ける状況が続いている。

2 「月例経済報告」

平成14年10月9日 内閣府

(我が国経済の基調判断)

景気は、引き続き一部に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、環境は厳しさを増している。

- ・雇用情勢は、一部に改善への動きがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。
- ・個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。
- ・企業収益は改善の兆しがみられ、設備投資は下げ止まりの兆しがみられる。
- ・輸出は増加テンポが緩やかになっており、生産は緩やかな持ち直しが続いている。業況判断は、改善がみられるものの、そのテンポが緩やかになっている。

先行きについては、景気は持ち直しに向かうことが期待されるが、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の下落など、環境は厳しさを増しており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まりつつある。

(政策の基本的態度)

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」を早期に具体化する中で、「金融システム改革」、「税制改革」をはじめとした構造改革を加速するための政策強化を行い、デフレ克服を進める。このため、10月末を目途に対応策をとりまとめる。

また、デフレ克服及び金融システム安定化に向け、政府・日本銀行は引き続き一体となって強力かつ総合的な取組を行う。

利用の手引き

1 始めに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供して来ました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実に努めていきたいと考えていますので、御意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

2 仕組み

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省		有効求人数	福島労働局職業安定部 厚生労働省
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会		有効求職者数	
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省		雇用保険受給者実人員	
	公共工事請負金額	保証事業会社協会		現金給与総額指数	県電子社会推進・統計室 厚生労働省
	業務用建築物着工棟数	国土交通省		所定外労働時間指数	
生産活動	鉱工業生産指数	県電子社会推進・統計室 経済産業省		常用雇用指数	
	投資財生産指数		パートタイム労働者比率		
	消費財生産指数		物価	卸売物価指数（総平均）	日本銀行
	鉱工業出荷指数			消費物価指数（総合）	県電子社会推進・統計室 総務省
	鉱工業在庫指数	東北電力福島支店 電気事業連合会	企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク
	大口電力使用量		金融機関預貸残高	日本銀行福島支店 日本銀行	
	大口電力契約量		貸出約定平均金利		
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	中小企業業況判断DI	県産業振興センター	
	有効求人倍率		市場	株式	日本経済新聞社 東京証券取引所
			円相場	日本銀行	